



『2021年火災保険料値上げ！』

2019年の10月に火災保険料の値上げが行われたことは記憶に新しいですが、ここにきて再度、火災保険の値上げが決定しています！また上がるの！？というお声が聞こえてきそうですが・・・

上がる理由としては、近年相次ぐ自然災害が原因なんです。

2019年の値上げは2016年までの保険統計データに基づいたもので、2017～2018年の災害の影響が反映される前だったのです！

2018年度はとくに、大阪や近畿で被害が大きかった台風21号の影響で、1兆5695億円もの保険金の支払いがありました。

(出所：日本損害保険協会)

これは調査を始めた1970年以降もっとも大きな保険金の支払額で、巨額の保険金の支払いが今後も予測されることから再度の値上がりになったようです。

ちなみに、2021年度の保険金の値上がりに2019年のデータは反映されていません。2019年にも大きな台風被害があったので、2021年以降も更なる値上げが行われる可能性もあるのです。

気になる保険料ですが、どのくらいの値上げになるのでしょうか・・・

各保険会社によって違いはありますが、約10%前後上がる傾向にあるようです。

詳細な保険料は、お住いの地域、建物の構造によって決まってきます。

度重なる火災保険料の値上がりは、住宅を所有されている方(不動産オーナーさん)

にはとっも頭が痛いですよ・・・

ではどうすれば保険料を安く抑えることができるのでしょうか？

どの保険にも言えることですが、不必要な補償を外すことで保険料は抑えられます。

近年は水害被害が多いですが、高層階では水災補償の必要性は高くありません。

自身が所有しているエリアのハザードマップなども確認しながら、本当に必要な補償だけを残すようにしましょう！そして、保険料の値上げ前に長期契約する方法です。

保険料改定前に長期契約を開始すれば、更新のタイミングまでは値上げの影響を受けません。

長期契約にしておけば、その期間はずっと保険料が変わりませんし、そもそも長期契約は保険料の総支払額が抑えられるので、合わせて節約になるというお得な方法です。



保険料の値上がりは悩みの種ではありますが、昨今の自然災害を考えると必要不可欠なものですよね。

「思っていた補償がついていない！」「保険料は高いけれど本当に必要な補償が揃っているのか」など、早め早めに確認や見直しを行っておくことで、いざという時に慌てずに済みます。

これから台風が増える季節でもありますので、なるべく早めに保険の見直しを行うようにしましょうね。

2020年、100歳以上の方は〇〇人？

人生100年時代と言われる現在、長生きに対する準備が必要とされています。

現在の日本の平均寿命はというと、男性:81.41歳・女性:87.45歳(出所:厚生労働省 2019年)です。

現在の100歳以上の方はどのくらいいらっしゃるかというと・・・実は約7万人いらっしゃいます。

1980年は約1,000人弱でしたので、40年で70倍に増えたということです。しかも2060年には60万人を超えると予測されています。どんどん長寿化は進みます。現在のものさしで老後資金を計算するだけでなく、将来を予測して余裕を持った準備が必要ですね。毎年敬老の日あたりに100歳以上の方の人数が厚生労働省から発表されています。

さて2020年、100歳以上の方は何名いらっしゃるのでしょうか？発表が楽しみです(^_^)



【発行】 株式会社F・P・S

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル6階
(大阪メトロ 堺筋本町駅⑩番出口 徒歩1分)

代表電話:06-6262-0501 フリーコール 0800-111-5667

<https://fpsjp.com/>



HPIはこちらから